

定例市長記者会見録

日 時：7月22日(水) 午後1時30分～2時

場 所：本庁舎6階特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長

報道機関 中日新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞

(市長)

7月の記者会見ということでお集まりいただき、ありがとうございます。今日は3つ、資料をご用意させていただきました。

まず、No.1、中核市移行に関する条例案への意見を募集でございます。来年、市制施行100周年のタイミングで中核市に移行しますが、その新たな事務を行うために整備が必要な条例です。新しく制定するものが30、改正するものも10近くあります。その中から、市民の皆さんの権利・義務に関係するものや、生活に影響を与えるものを選びまして、8月3日から1カ月間、パブリックコメントとして意見を募集します。ですので、審議会など行政機構に関する内部的なものは入っていません。8月3日に、市ウェブサイトに掲載されますので、市民の皆さん、事業者のみなさんにご覧いただき、関心の高いところについて、ご意見を聞かせていただける機会になると思っております。また、29日水曜日に、総務大臣へ、中核市の指定に係る申出書を提出しに参ります。先週、愛知県大村知事から、正式にOKをいただきましたので、次は国に対して提出します。来年4月に中核市に移行するのが一宮市と長野県松本市ですので、同時に行う予定です。8月3日に意見募集を開始する際に、このことも整理したものを合わせて公表します。多くは現在県が行っていることを市に平行移動することに加え、来年4月から、市独自に新しい規制を導入していくものもあります。中核市となった最初から新しい取り組みも入ってきます。来月から1カ月間、意見を募集しますが、できるだけ多くのご意見をいただけると思っています。

資料No.2、GIGAスクール構想の実現に向けた学習者用パソコンの整備です。これまで一宮市では、令和4年度末までに児童生徒3人に1台の端末整備を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金という国からの支援がありますので、今年度中に一人1台の整備へ、計画を前倒しします。文部科学省からは、小中学校の最終学年には、できるだけ早く一人1台揃えるという方針も出ています。コロナの影響による小中学校の休校を考えると、早めのオンライン学習の整備が必要ということで、国の交付金をフルに使い整備します。整備した学習用パソコンの使用方法につきましては、8月末を目途に、9月補正予算と合わせて固めますが、現在、検討を指示しているのは、なかなか学校に来れない不登校の児童生徒とのやりとりや学習に使うとか、外国人の児童生徒への学習指導などですが、ひとまずモノがあれば広がっていくのではないかと期待して、整備の前

倒しに取り組みます。

資料No.3、特別定額給付金の支払い状況です。4,883世帯、市内の3%が未申請ということで、このうちの7割が単身世帯で20~50歳代が多いという結果が出ていますが、ハガキでの呼びかけを予定しています。8月31日が締め切りですので、最後の追い込みということで、報道の皆さんに取り上げてもらえればと思います。

以上、私からの説明となります。

質疑応答

■中核市移行に係る条例案への意見を募集

(記者) パブリックコメントでは、それぞれの条例に一宮市としてオリジナルで何を盛り込むかといったものが示されるのですか？

(担当) パブリックコメントが始まる8月3日に、概要を示したものと条例の素案を公表します。

(市長) 市独自の施策として、空き地対策、動物愛護、産業廃棄物ルールなど予定をしています。具体的には、市独自のところと、県から平行移動するところをまとめた資料も、パブリックコメント開始までには提示したいと思います。

(記者) 新設や改正をあわせると全部でいくつありますか？

(市長) 新設が30、改正が6、廃止が1です。新設のうちの23を、市民生活に大きな影響を及ぼすため市民に意見を聞くべきものとして、パブリックコメントにかけます。

■GIGAスクール構想の実現に向けた学習用パソコンの整備

(記者) 児童生徒1人1台にタブレットPCを整備する際の予算規模、また、そのうち市の持ち出し部分と交付金の割合はどれくらいですか？

(市長) ぎりぎり切り詰めてPC端末を1台5万円とすると、3万人分で15億円です。これに学習用のアプリを入れたり学校のネットワーク環境を変えたり、どこまで付くかわえて9月補正予算に計上するか、具体的な検討を始めたところです。

(記者) ライセンス料を支払わないと、家とのオンライン授業ができないのではいか？

(市長) 本の教科書は、緊急事態宣言中だけ特別にオンラインで使わせてもらっていた状態でした。文部科学省が3年かけて電子教科書導入を検討し始めているので、学習指導要領が次に入れ変わるタイミングにならないと、アプリやオンラインを中心に学校の先生が授業をするというのは難しいでしょう。

(記者) いつから、どの世代から始めるのですか？

(市長) 文部科学省からは、最終学年の小6、中3の取りこぼしを少なくするようにとの方針が示されていますが、市内の具体的な手順は、これからです。

(記者) 小学校では、アクセスポイントは完備されているのですか？

(市長) ネットワーク環境についても、今はWi-Fiが主流ですが、5Gが出てきています。更新などの必要性も出てくる5年後のことも考えても検討していきますが、まずは、GIGAスクール構想にのっとり、国がいろいろな枠組みを用意してくれている中で、1人1台という方針を打ち出すものです。

■「平成29年度 一宮市の市民所得」

(記者) 一宮市は、1人当たりの市民所得が県内38市中33位。これをどう分析するか。

(市長) 2017年の数字、遅れている感はありますが、県の発表が今年の3月なので、そのデータをもらってから作業に3～4カ月かかったということでした。3年前の数字ではありますが、地域の実情を表していると思えます。三河地域は日本を背負う自動車会社があることが関連し、尾張地域は戦後、繊維産業を中心に栄えましたが、三河に比べると厳しい状況にあるのではと思います。ただ、財政力指数でみると一宮市は県内38市中30番目位ですが、全国平均でみるとそんなに悪くはない指数です。

■市議会・真風会の東京出張

(記者) 真風会の東京出張の際、一部で市長も合流されたようですが、どういう経緯だったのですか？

(市長) 今年4月から市職員を初めて内閣府に派遣していますので、コロナが少し落ち着いたタイミングでお礼を申し上げ、合わせて内閣府幹部からお話を伺うために私は東京出張しました。同じ時期に、真風会から、自民党二階幹事長との面会のお誘いがありましたので、市長の政務として与党に対する名岐道路など公共事業進捗へのお礼ということで、もちろん、不要不急なことは今はやりませんが、二階幹事長にお会いするのはこのタイミングで必要だと判断して合流しました。